

昭和女子大学女性文化研究所主催 公開シンポジウム

「子どもの未来を共につくる社会へ —出生・育児・法制度・ジェンダー—」

2025年12月6日(土)13:30～16:00 オンライン開催

今日、子どもを産むことの選択、育児の責任、法的な親子関係、婚外子、特別養子縁組による親子関係、思いがけない妊娠の問題など「子どもを持つ」ことや「親になる」ことは多様化しています。本シンポジウムでは、当事者、法制度、医療、社会福祉、経済学など、さまざまな立場から現代の産むことや育児、家族のあり方について議論します。そこから子どもの未来を共につくる社会について議論を深めます。特に、今年は北京行動綱領の採択から30年の節目の年にあたります。子どもの未来に向けて、ジェンダー平等の視点を踏まえた議論は非常に意義深いものとなるでしょう。

【予定プログラム】 司会：木村美也子女性文化研究所所員（現代教養学科教授）

- ・ 開会挨拶/昭和女子大学長 金尾朗
- ・ オープニングメッセージ/昭和女子大学総長 坂東真理子
「子どもの未来を共につくる社会へ
—女性の地位向上に向けた取組と女子大学からの発信の意義—」
- ・ 講演：課題提起①/武川恵子女性文化研究所長（昭和女子大学専門職大学院教授）
「すべての子の利益と男女共同参画に向けて
—婚外子問題・父の責務の確保—」
- ・ 講演：課題提起②/北本佳子女性文化研究所副所長（昭和女子大学大学院教授）
「子どもをもつこと」と「親になること」の選択にかかわる現状と課題
—特別養子縁組の養親への調査をもとに—
- ・ シンポジウム「子どもの未来を共につくる社会へ」コーディネーター 北本佳子
養子縁組支援の立場から：一般社団法人アクロスジャパン 小川多鶴氏
当事者の立場から：養子縁組の養親の立場から T氏
法律の立場から：大谷&パートナーズ法律事務所 弁護士 橋高真佐美氏
医療の立場から：医療法人きずな会さめじまボンディングクリニック 院長 鮫島浩二氏
経済学の立場から：昭和女子大学現代ビジネス研究所特命教授 八代尚宏
- ・ トークセッション（オンライン参加者との討議）
学生、当事者、支援者、行政、学識者からのコメント、意見等
- ・ 閉会挨拶/木村美也子所員



◀ **申込**はこちらのQRコードから
(<https://forms.gle/NATKx4b843ingiYS9>)

本テーマに関心のある方であれば、
どなたでもご参加いただけます。

参加費
無料

主催：昭和女子大学女性文化研究所
協力：社会福祉法人共生会 SHOWA

一般社団法人 アクロスジャパン 「2025年度 東京都養子縁組民間あっせん機関体制整備支援事業」